

災害時ごみ処理ハンドブック



南海トラフ地震など災害発生後には、大量のごみが発生します。

大規模災害時のごみ処理について、どのように対応すればいいのか事前に知っておき、住民同士協力し合うことが、円滑な復旧と復興につながります。

災害時に出るごみは「生活ごみ」と「災害廃棄物」の2つに大きく分類され、ごみを出す場所が違います。

生活ごみ

普通ごみ

生ごみ
プラスチック類
など



資源物

あき缶
あきびん
ペットボトル
紙類
など



災害廃棄物

片付けごみ

壊れたり、水に浸ったりして
使えなくなった家具・家電・畳
災害で発生した「粗大ごみ」
など

がれき

壊れた家屋
建物から発生する木くず
コンクリート
など



出し方は次頁をチェック！！

生活ごみの出し方

「普通ごみ」は 最低3日間 自宅で保管

市からのお知らせ（情報発信）があるまでは、

「普通ごみ」は自宅で保管してみてください。

災害発生後3日以内の収集再開を目指としています。

回収業者や処理施設の状況により、それ以上かかるかも!?

「資源物」は 自宅で保管

「普通ごみ（特に生ごみ）」は腐敗や悪臭による衛生面の問題があるため、「普通ごみ」を優先して回収します。

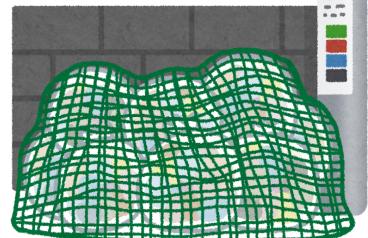
資源物は収集体制が整うまでは自宅にて保管してください。

資源物の回収は準備が整い次第お知らせします。



「いつものごみ集積所」に出す

収集が再開したら、普通ごみと資源物はこれまでのごみ集積所に出してください。



災害廃棄物 の出し方

災害廃棄物とは

- ・災害によって使えなくなったもの
- ・片付けごみ
- ・がれき

「出せるもの」

- ・可燃物（家具類・プラスチック・衣類など）
- ・不燃物（ガラス・陶磁器くずなど）
- ・コンクリートがら等のがれき
- ・布団・畳・カーペット等
- ・消火器・ガスボンベ・スプレー缶
- ・スレート板・石膏ボード等
- ・灯油等 ※液体は密閉容器使用（内容物を記載）
- ・ペンキ・シンナー類・農薬等
- ・金属くず
- ・草木・柱角材等
- ・家電4品目（冷蔵庫・洗濯機・エアコン・テレビ）
- ・上記以外の家電品（掃除機・レンジ等）

「出せないもの」

- ・日常の生活ごみ
- ・事業所から出たごみ
- ・産業廃棄物

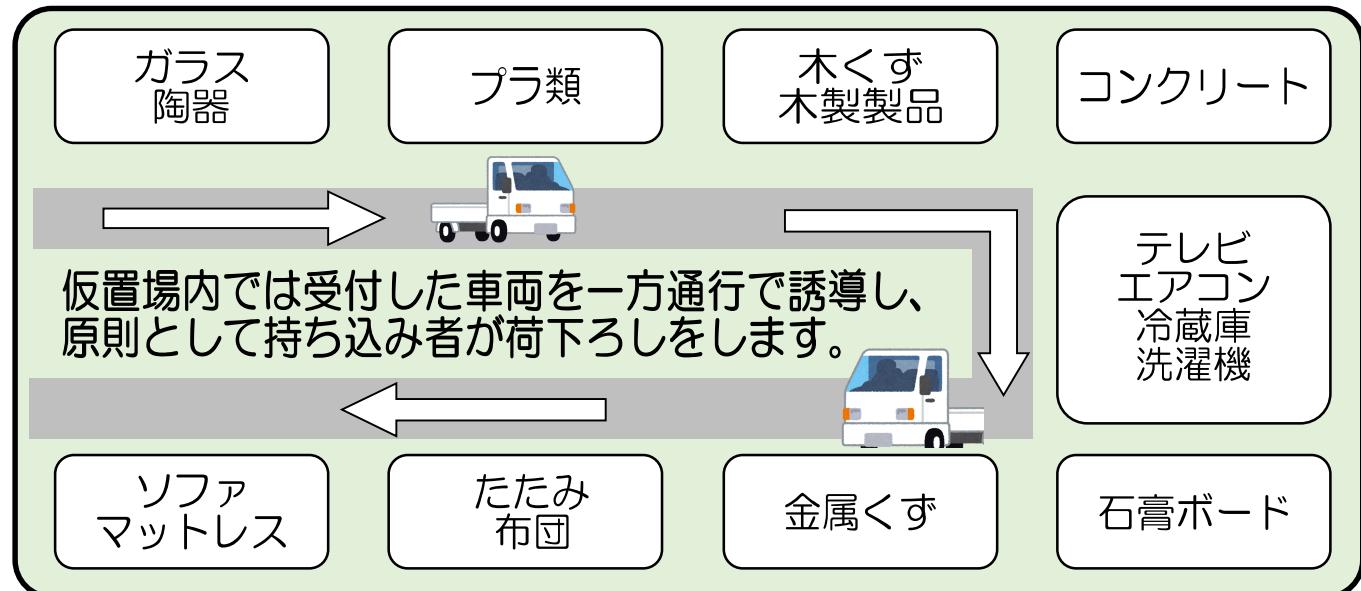


市が指定する仮置場に出す

勝手に捨てるのは絶対ダメ！

災害の規模や状況に応じて公園や空き地等に開設する予定です。開設期間や時間等については状況に応じて、市HP、市LINE、防災無線等でお知らせします。

一般的な仮置場レイアウト



※実際の分別品目や配置は、災害の規模や被災状況などで変わります。

ごみは品目ごとに分別した状態で持ち込んでください

車にごみを積み込む時から分別しておくと、仮置場で荷降ろしする時間を大幅に短縮することができます。

分別ルールが守られないと・・・

⇒処理の期間、時間、費用の増加
⇒腐敗性の廃棄物による悪臭や害虫の発生
⇒スプレー缶・カセットボンベなどによる火災の危険

「災害廃棄物仮置場川柳」

仮置場
分ければ早い
積み降ろし

ごみを出す時の服装

- 帽子orヘルメット
- 長袖・長ズボン
- 長靴or安全靴
- 厚手の手袋
- 防塵マスク
- タオル



市が指定する仮置場以外の場所にごみを出さない！



「令和3年熊本県豪雨災害時の様子」出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル(http://kouikishori.env.go.jp/photo_channel/)

⚠️ 勝手に捨てると様々な問題が発生！⚠️

- 市が指定していない仮置場のごみ回収対応は困難。
- 管理・分別されていないため、悪臭が発生する。最悪の場合は火災が発生。
- ごみがごみを呼び、道路をふさぎ、緊急車両、復旧工事車両が通れない。
- 高く積まれたごみが崩れ落ちケガをする。
- 勝手に置いたものを分別・搬送する手間がかかり、必要な支援に手を回せない。

普段から、ごみを減らす工夫をしておこう。

今いらないものは処分しておく。

家の中にある不要な家具・家電などは、リサイクルやごみに出す等、適宜処分しておくことで災害時のごみを減らすことになります。



家具・電化製品の転倒防止策をする。

家具や電化製品を壁や天井に固定して倒れにくくすることで、家具などの転倒・破損を防ぐことができます。

災害時のごみを減らすことはもちろん、身を守ることにつながります。

災害時のごみ出しに関する情報は、市HP、市LINE、防災無線等で周知します。

南国市環境課 088-880-6557